



大阪大学
OSAKA UNIVERSITY



Vol.27
2021年7月号

News
Letter

おおきに健康

歯とお口から

大阪大学歯学部附属病院 広報誌 <https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/>



副病院長 鵜澤 成一

令和3年4月より、大阪大学歯学部附属病院・副病院長を拝命しております、鵜澤 成一です。

私は、主に、医療安全と地域連携を担当しております。当院に来院される皆様に最も安全な医療を提供すべく日々努力しております。

現在、医療を受けられる患者さん自身が、さまざまな医療プロセスに積極的に関与することにより、より安全で質の高い医療を受けることができるという研究結果が多く報告されております。すなわち、医療の質と安全性の確保は、医療を提供する側だけでは不十分であり、医療を受けられる患者さんの協力が不可欠であります。

例えば、コロナ禍における院内感染を予防するために、歯学部附属病院入館時に、検温や問診票の記入をしていただいております。これは、コロナ禍以前には全く行っていなかったことであり、このことにより院内感染のリスクを下げ、安全性の向上につながります。また、患者さんを間違えないようにするために、病院のあちこちで、何度も何度も名前や生年月日を聞かれることがあると思います。うんざりすることもあるかもしれませんが、そうすることにより、医療の安全性は格段に高まります。

医療において最も重要なことは、医療提供者と患者さんとの意思疎通であります。どうぞ、疑問に思ったり、不安なことなどは担当医に言ってみてください。質の高い、安全な医療は、患者さんと共に作り上げるものですから。

内面

- 特集 1.
ウイルス感染と唾液
- 特集 2.
看護師の取り組みをご紹介します
- 病院からのお知らせ

お口の相談コーナー
お口のマメ知識

裏面

- 2021年4～6月の統計情報
- 病院概要



大阪大学大学院歯学研究科 高次脳口腔機能学講座 顎口腔機能治療学教室 教授 阪井 丘芳

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)は、SARS-CoV-2(重症急性呼吸器症候群コロナウイルス2)によって引き起こされる感染症です。

①新型コロナウイルスはどこから身体に侵入するのでしょうか?

肺炎が生じて重篤化することがあるので肺の病気のイメージがありますが、さまざまな研究結果から口から入るケースが多いとわかってきました。

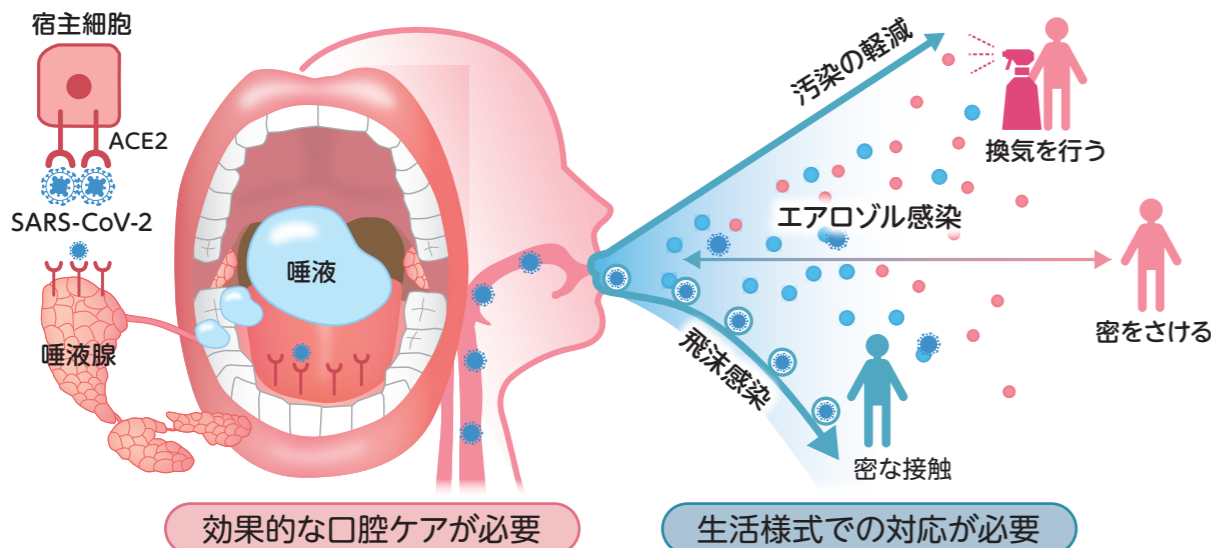
②口からいきなり気管と肺に侵入するのでしょうか?

当初はそのように考える医療関係者や研究者が多かったのですが、最近では口の粘膜や唾液を出す唾液腺に感染することが知られるようになりました。すなわち口の病気であるとも言えます。新型コロナウイルスが唾液腺に感染すると、唾液飛沫としてウイルスを飛ばすので、ウイルスの発生源になる可能性が高いです。高齢者や呼吸器疾患のある方は感染した唾液が気管や肺に入り、重症化するのではないかと調査研究も進められています。

③歯科治療は危険なのでしょうか?

患者さんの中にはさまざまな疾患をお持ちの方がおられます。肝炎、HIVなどの感染症の方も歯科治療に来られるので、慎重な感染対策に努めています。コロナ禍で歯科治療を制限し重篤化する患者さんもおられます。受診に迷われた場合は主治医にご相談ください。

図は口からの感染経路と感染拡大に対する予防策を示しています。唾液中に侵入した新型コロナウイルスは受容体ACE2に結合して感染を引き起こします。感染した唾液飛沫が感染の原因となるため、距離の確保と換気によって感染拡大を抑制します。さらに感染した唾液を拡散しないように口腔内の管理が重要になってきます。普段から手洗いや三密を控えることに加えて効果的な口腔ケアが必要です。われわれ歯科医療従事者は口からの飛沫感染をできるだけ減少させたいと考えており、将来的には新型コロナウイルスを安全に素早く不活化できる成分を含んだ口腔ケア用品の完成を目指しています。



効果的な口腔ケアが必要

生活様式での対応が必要

大阪大学歯学部附属病院 副看護部長 熊谷 由加里

口唇裂・口蓋裂(こうしんれつ・こうがいれつ)は唇や上あごのつながりが悪い状態であり、日本人では約500人に1人の割合で生じています。本院では、関連の全診療科が協力し、西日本で最も多くの口唇裂・口蓋裂の治療を行っています。

本院の看護師は、出生直後から哺乳の困り事を解決するために、近畿圏の産科医療機関へ出向き、専門性の高い哺乳指導を実施しています。年間約900件の哺乳・育児相談に対しても、丁寧に細やかな対応を心がけています。



看護師が経験知を積み重ね開発した哺乳技術は、「動画で学べる口唇裂・口蓋裂の子どものための哺乳」として大阪大

学歯学部附属病院のホームページへ掲載しています。ぜひ、ご覧ください。



2020年1月ミャンマーを訪問し、30施設から集まった看護師たちへ哺乳技術を教育する海外医療支援に寄与しています。私たちは、地域をはじめ国内外で求められる口唇裂・口蓋裂の看護ケアの提供を目指しています。



休診のお知らせサービスははじめました。

地震などの自然災害や新型の感染症など様々な理由により、病院が休診となった場合に、登録している携帯電話へ、ショートメッセージ(SMS)で休診をお知らせするサービスです。本サービスをご利用いただくには、事前に登録が必要です。ご自身のスマートフォンや携帯で、二次元コードを読み取ってアクセスし、登録を行ってください。この機会にぜひご登録・ご利用をされてみてはいかがでしょうか。



「入れ歯の清掃ってどうしたらいいの?」

お口の相談コーナー



食事をした後に歯磨きをしますが、入れ歯(義歯)を入れている場合はどうなのでしょう?清掃をしないで良いのでしょうか?清掃をしないとどうなるのでしょうか?

入れ歯の清掃を怠ると、汚れが溜まり、口臭が発生します。ひどい場合には、入れ歯の汚れが原因で口の中の粘膜に炎症が起こったり、残っている歯が虫歯や歯周病になったりします。これらを予防するためにも、食事をした後は入れ歯を外して、歯と同じように日々のお手入れをすることがとても大切です。では、どのように清掃をしたら良いのでしょうか?

入れ歯を清掃する際は、まずブラ

シ等を使って流水下で磨き、汚れを落とします。入れ歯専用のブラシ(義歯ブラシ)を使うと、より効果的に磨くことができます。ただこのとき、歯磨き粉は使わないように注意しましょう。歯磨き粉の中には研磨剤が入っているものが多く、入れ歯に傷がついてしまいます。きれいに磨いた後は、汚れを目で確認するだけでなく、指で触ってぬめりが残っていないことを確認しましょう。

ブラシで汚れを落とした後は、入れ歯洗浄剤(義歯洗浄剤)を使うことで、より効果的に清掃することができます。入れ歯洗浄剤は毎日使う方が衛生的ですが、1週間に1~2回程度で

も十分効果があります。ただ、入れ歯洗浄剤だけを使っても汚れを落とすきれいなので、必ずブラシできれいにした後に入れ歯洗浄剤を使うようにしましょう。

入れ歯で快適に過ごすためにも、毎日のお手入れで残っている歯だけでなく入れ歯も清潔に保つようにしましょう。



お口のマメ知識



歯の破折と歯の神経(歯髄)について

保存科 病棟医長 高橋 雄介

長期間にわたって歯を使い続けると、歯にヒビが入ってしまったり、時には真っ二つに割れてしまうことがあります(歯の破折)。歯の破折が生じると非常に経過が悪く、抜歯しか解決方法がない場合が非常に多いです。最近の調査で、歯の破折による抜歯は、歯周病、むし歯に次いで抜歯の3大原因の一つに数えられることが分かっています。

なぜ歯が破折するのかということ、食事によって上下の歯が毎日触れ合うために、硬いものなどを噛んだことがきっかけになることもあれば、食事中以外でも、歯ぎしりや食いしばりといった習癖も原因になりえます。

では、どのような歯が破折しやすいかというと、深いむし歯などが原因で歯の神経(歯髄)を取ってしまった歯において破折が発生しやすいということが明らかになっています。逆に歯髄が残っている歯は多少欠けることはあっても、真っ二つに割れるようなことは稀です。なぜそうなるのかは完全に解明されておりませんが、歯髄を失うことで水分が減少した歯はもろくなり、割れやすくなるのではないかと考えられています。

歯の破折を予防するためには、極端に硬い物を噛まないように注意することや歯ぎしりなどの習癖の改善が必要となりますが、完全に予防する

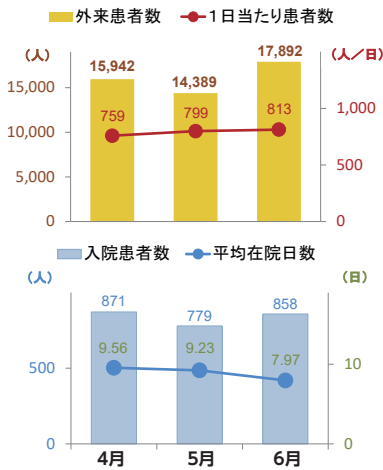
ことは非常に困難です。あえて申し上げますとすれば、最大の予防法は歯髄を取らないことになるかもしれませんので、できるだけご自身の歯髄を守ることをお勧めいたします。また、破折した歯も可能な範囲で抜かずに使える場合もありますので、歯の破折の予防や治療については担当医にご相談ください。



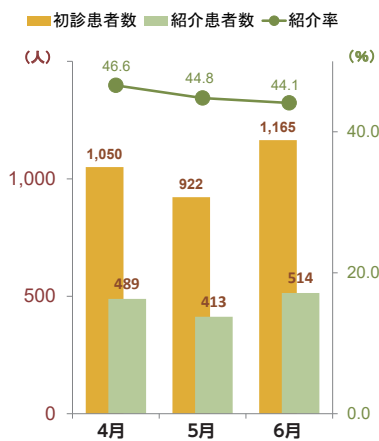
真っ二つに破折してしまった歯

4月～6月患者数等統計

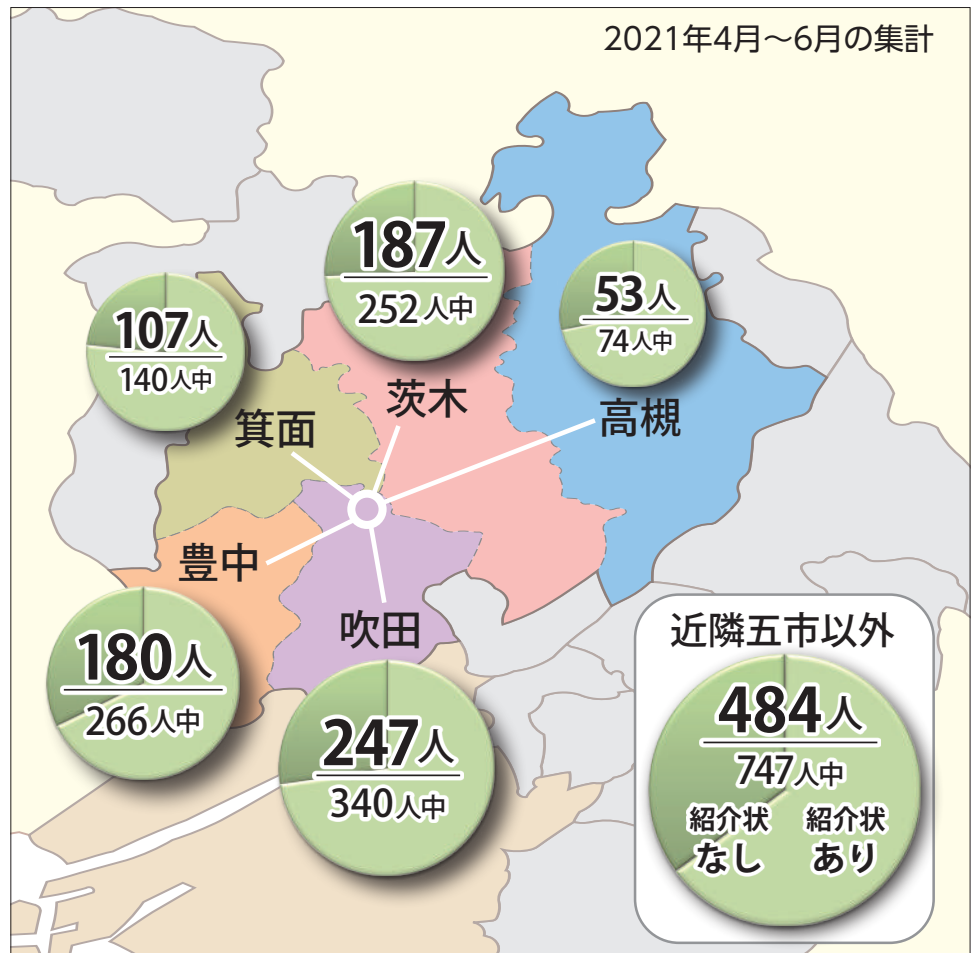
外来患者数・入院患者数



初診患者数と紹介患者数比率



近隣五市の新来患者に占める紹介状持参患者数



病院概要

診療日：月～金 休診日：土日祝日、年末年始（12月29日～1月3日）

受付時間：【初診受付】8時30分～11時30分（初めて受診の方、紹介無し可）

【再診受付】8時30分～15時00分（原則として全科予約制）

住所：〒565-0871 吹田市山田丘1番8号

電話番号：（代表）06-6879-5111（時間外）06-6879-2848

標榜診療科：歯科、矯正歯科、歯科口腔外科、小児歯科

診療内容

口腔衛生指導、虫歯治療、歯周病治療、歯周再生治療、差し歯、入れ歯、インプラント治療、口腔癌治療、口唇口蓋裂治療、障害者歯科治療、摂食・嚥下、スピーチ治療、スポーツ歯科、口臭外来、ドライマウス外来、睡眠時無呼吸、歯の外傷治療等

電話による病気や症状に対する相談には再診料がかかりますので、ご承知ください。

夜間休日の緊急診療につきましては、あらかじめお電話(06-6879-2848)のうえ、お越しください。

入院患者様へのご面会は新型コロナウイルス感染対策の観点から当分の間、原則禁止とさせていただきます。

病院へのアクセス

https://hospital.dent.osaka-u.ac.jp/hospital/hospital_000009.html

歯学部附属病院にお車で越しの際は、西門（歯学部門）よりお越しください。

**看護師・歯科衛生士
募集中！**

—お問合せ—

歯学研究科総務課人事係
06-6879-2834 まで

